



夏来たる！ プール開き

柿岡中学校のプール開きが6月28日に行われました。この日はきのうまでの雨や曇りとは打って変わり、夏の陽射しが輝くプール日よりとなりました。プール開きは、体育授業の一環として行い、3年生のうち2クラスが参加しました。簡単な式の後、準備体操をしてプールに入った生徒たちは、最初ためらいがちに水の中へ入っていきましたが、そのうち水を掛け合ったり泳いだりと、思い思いに楽しんでいました。十分に水泳ができるのは学生のときだけです。思いっきり泳いでね。



バランスよい食事で健康な毎日



瓦会小の交流給食

人間にとって「食べること」は、楽しく愉快な行為です。まして育ち盛りの子どもたちが友だちと一緒に同じものを食べる給食は、学校生活の中で最も楽しい時間に違いありません。加えて、食事を共にすることによって、共同生活の基本的態度を身につける場となり、給食の準備、あと片付を通して児童生徒はそれぞれの生活体験をもち、協力、助け合い、

きまりを守る、清潔など、具体的活動を通してよい習慣や態度を身につけることができます。このように教育的にも重要な給食について子どもたちはどう考えているのか。また、給食はどのように作られているのか。など今回は学校給食を取り上げました。戦後、食物不足を解消するために再開された給食は、飽食の時代に入り確実に変化してきています。

米飯は週3回

コシヒカリ混入米

八郷の学校給食の歴史をふり返ってみると、およそ次のようになります。

昭和二十六年 戦後の乏しい食料事情の中で国民が生存していくために、国際連合児童基金からミルクの寄贈を受け、脱脂粉乳のみのユニセフ給食が始まる。

昭和二十八年 みそ汁のみの給食開始。子どもたちが野菜持ち寄る。

昭和二十九年 小学校のみ週三回完全給食開始。内容は、コッペパン、脱脂粉乳をしておかず。父母が交代で調理する単独校調理方式を採用。

昭和三十四年 牛乳を給食に採用。
昭和三十九年 栄養士による給食献立指導開始。

昭和四十二年 学校給食センター建設開始。

昭和四十四年 四月から学校給食センターが運行し、共同調理方式による給食開始。これより中学校も完全給食となる。

昭和四十五年 米飯給食実験開始。
昭和五十一年 米飯給食を月二回導入。

昭和五十五年 米飯を週一回とし、委託炊飯開始。現在は週三回。いまの給食の主食は、米飯が月・水・金曜日。茨城県産のコシヒカリ四〇％混入のおいしいお米です。パン食は火・木曜日の週二回。パ

ンの小麦粉は無漂白を使用し、市販品と違った特別の配合が決められています。

牛乳は毎日普通二〇〇ccがつきます。牛乳は、育ち盛りの子どもたちに必要な栄養素をたくさん含んでいます。

また、副食として毎日いろいろな献立が用意されます。これらが主に給食センターで作られております。センターの献立は「血や骨になる食べ物」「からだの調子を整える食べ物」「熱や力になる食べ物」の三つのグループに分けてそれぞれにバランスよく立てられます。

さらに、給食は学校教育の一環であり、次の大きな四つの目標が

あります。

(1) 食事について正しい理解と望ましい食習慣を養う。

(2) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。

(3) バランスのとれた食事によって、健康増進をはかる。

(4) 食物を生産する人、食事を作る人など、多くの人の協力で学校給食が出来ることを知る。

キライなものでも ほとんど食べる

五年生と話し合った

交流給食会



磯山 祐樹さん
瓦会小・2年

クラスでの給食に比べ交流給食会はとても楽しいです。きょうは五年生といろいろなことを話しながら食べました。給食で好きなメニューはカレーライスと野菜。嫌いなものは梅ぼし。内容や量などはいまのままでよいと思います。

給食センターでは町内小学生八

九三名(二、四、六年生)を対象に給食に関するアンケートを実施しました。その結果を紹介します。

子どもたちの給食への思いがよく表われています。

問一 給食時間は

ア、楽しい 64・9%

イ、ふつう 32・4%

ウ、楽しくない 2・7%

問二 ごはんの量は

ア、多い 9・5%

イ、ちょうどよい 72・9%

ときには野外で

弁当を食べたい



木村奈津美さん
朝日小・6年

野菜やカレーライスが好きなのもつとふやしてほしい。サカナはおいしいのですが、海藻類が苦手なので食べるよう努力しています。また、フルーツが少ないような気がします。ときどきは弁当の日を設けて、みんなと校庭などで会食してみたいです。

ウ、少ない 17・6%

問三 パンの量は

ア、多い 16・9%

イ、ちょうどよい 70・9%

ウ、少ない 12・2%

問四、メンの量は

ア、多い 11・3%

イ、ちょうどよい 67・6%

ウ、少ない 21・1%

問五 おかずの量は

ア、多い 10・1%

イ、ちょうどよい 66・8%

ウ、少ない 23・1%

納豆キライ、でも

給食なら食べられる



花和 尚忠さん
東成井小・5年

カレーライス、スパゲッティ、牛乳が好きです。納豆は嫌いなのですが、みんなと一緒に食べられます。メン類やまぜご飯の売れ行きはいいのですが、白いご飯の時は残るようです。給食時間はおしゃべりすると足りません。交流給食や親子給食を希望します。

問六 給食は残さず食べるか

ア、全部食べる 41・9%

イ、だいたい食べる 37・6%

ウ、少し残す 18・0%

エ、ほとんど食べない 2・5%

問七 牛乳は残さず飲むか

ア、全部飲む 93・7%

イ、残す 6・3%

問八 きらいなものが出た時

ア、努力して食べる 45・8%

イ、少し食べる 47・7%

ウ、全然食べない 6・5%

問九 「献立表」や「配食表」を

見ているか。

ア、毎日見る 35・3%

イ、時々見る 53・5%

ウ、見ない 7・1%

エ、給食当番の時だけ 4・1%

問十 給食で食べたものや給食だ

よりについて家族と話をするか。

ア、よくする 16・1%

イ、時々する 47・7%

ウ、しない 36・2%

以上のアンケート結果を参考に給食センターでは、魅力ある、おいしい給食づくりをしています。

食欲おう盛で

給食が待ち遠しい



増淵 由美さん
有明中・1年

ご飯と肉ジャガが好きです。野菜は好きではありませんでしたが、給食により食べられるようになりました。私のクラスは食欲おう盛なのでほとんど残さず食べてしまいます。ただ、量は十分なので食べるとおなかいっぱい。デザートをもつとふやしてほしいと思います。

八郷独特の

郷土食を献立に



飯田 誠さん
南中・3年

献立はいまのままでよいが、月に一回程度は野外給食をしてみたい。主食ではヤキソバに人氣があり、ご飯の時は残ることもあります。おかずでは食べられていないサカナ類が残りがちです。八郷ならではの「郷土食」も作ってほしいと思います。

学校給食センターの一日

8時45分 食器の準備

ジャンボギョーザを入れる容器を取り出し
水洗いします。



8時30分 朝礼

きょうのメニューや数量などの
点検をします。緊張のうちに1
日がスタート。

学校給食センターでは、町内小中学校の児童生徒約四千人分の給食を作っています。同センターの職員は二十一名。夏の暑さ、冬の寒さにもめげず「おいしい給食」を作ろうと毎日、チームワークよく精進しています。ここでは、六月二十一日の作業内容を通して「給食ができるまで」を写真で紹介します。



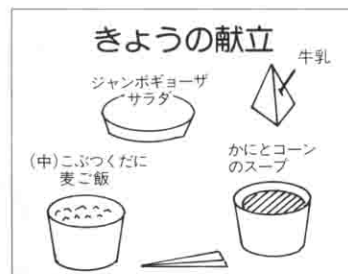
9時30分 ネギの皮むき

スープ用のネギの皮むきは自
然に涙がこぼれます。

「四月に異動してきて日は浅い
のですが特に安全衛生面に気を
使って運営しています。」



谷島重洋
センター所長



11時30分 到着

瓦会小に給食が到着しま
した



9時00分 食器の準備

食器の準備は朝からずっと
続けられます。



10時50分 運搬

各学校へは配送車で運搬
します。



13時30分 残菜の計量

残菜を計量して今後の献立の参考にします。



13時30分 食器洗い

下洗いしたものを洗淨器にかけて
洗います。

「おいしい給食をつくるため栄
養のバランスを考えながら献立
を工夫しています。」



柳沢けい子
栄養士



10時00分 スープ作り

大きなボールに割った卵を蒸気回転ガマに入れます、湯気がモウモウと上がります。

9時00分

水洗いしたキュウリをきざむ



8時45分 サラダ作り

サラダ用のキュウリの端を切り水洗いします。

9時30分 ギョウザあげ開始

ジャンボギョウザがまたたくまにあがります。



10時50分 弁当の用意

配送車の運転手さんの弁当作り。



10時00分 レタス切り

サラダ用のレタスを切っていきます。



12時15分 給食開始

配膳が終わると「いただきます」と大きな声。

藤岡 一子
主任調理師
「チームワーク
と清潔を大切に
しています」

15時30分 荷受け

明日の給食の荷が届きます。

短時間の中でたくさんさんの給食を作ることは大へんな作業です。「いただきます」の感謝の心がはだで分かりました。



15時00分 浄化槽の点検

月8回浄化槽の点検や水質分析をします。



14時30分 残菜の引き取り

残菜は毎日引き取られてブタのエサに。

親子で楽しい給食会



林地区公民館で行われた親子給食会

林小学校の家庭教育学級では六月二十九日、林地区公民館において「親子給食試食会」を行いました。参加したのは同小一年生の児童四十七名とその母親のみなさんです。

午前中に授業参観をし、午後十二時十五分から試食会の準備がはじまりました。給食当番の子もたちがエプロン、マスク、帽子を身につけ、それぞれが持参した食器に盛りつけます。今日のメニューはコッペパン、コーンシチュー、ソフトビーナッツ、牛乳、アーモンドカル、キウイフルーツです。コーンシチューは子どもたちの

初、いつもと勝手が違い恥ずかしそうでしたが、次第にうち溶けて談笑しながら食事をとっていました。母親も子どもたちとの給食は初めてとあって興味津津。一つひとつをかみ締めるように口へ運んでいました。子どもたちははじめてより食欲が出て、残菜もわずかに後始末は親子そろって手際よく片付けられました。

その後、「子どもの食生活」と題しての講演会が午後一時二十分から一時間にわたり行われました。講師は給食センターの柳沢けい子栄養士。「給食では家で食べたことがないものも出るし、嫌いな食

好きなメニューの一つで、トリ肉、エビを入れ、うらごししたコーン（トウモロコシ）を加えています。フルーツはキウイフルーツ。初めて給食に使った時は、子どもたちになかなか受け入れられなかったそうです。アーモンドカルはキウイフルーツと違い最初から人気のあった食品。細切りのアーモンドとたくちイワシが、小袋に入ったもので、カルシウムと鉄が豊富です。親子が机をはさんで向かい合い、「いただきます」と大きな声で食事がはじまりました。子どもたちは最

べ物も出るかもしれません。タンパク、ビタミン、エネルギーなどバランスのとれた食生活に心がけて給食の献立をたてています。給食は日常食なので、レストランのように豪華なメニューという訳にはいきません。特に八郷の児童生徒の中には、肥満児傾向の子が目立ちますので、家庭での食生活も十分気をつけてください」など、給食を中心とした子どもの食生活全般にわたる講演内容に、参加したみなさんは耳を傾けていました。

※家庭教育学級とは……町内小中十五校に一学級ずつ置かれており、主に低学年児童の父母で構成されています。学級のねらいは①子どもをよりよく理解し、家庭における親としての指導力を高める、②同じ子をもつ親同士が、家庭教育の正しいあり方について考える、③学級生同士の理解を深め、協力しあつてよい子を育てるための学習をする、です。林小ではほかに、焼き物教室や親子レクリエーションなどを計画しています。



白田あさみさん
林小・1年

お母さんとの給食会
これからも続けて

お母さんと一緒に給食を食べたのははじめて。これからも一緒に食べたいです。お友だちと給食の準備をしたり、あとかたづけをしたりするのもうれしいです。パンとサラダが好き。嫌いなものはタマゴですが、できるだけ食べるようにしています。



平 裕子さん(34)
林小家庭教育学級長

栄養バランスと
工夫した調理法

家庭教育学級の一環として親子給食を計画しましたが、みなさんに喜んでいただきありがとうございます。給食は子どもと比較的嫌いなピーマンやニンジンなどの野菜もいろいろな調理法により食べやすく工夫されているので安心していただけます。

庁舎建設費などを補正増

平成5年第2回町議会定例会が6月14日から22日までの9日間にわたり開かれました。上程された議案は、平成5年度一般会計補正予算など5件で、いずれも原案通り可決されました。ほかに、報告されたものが4件、請願1件、陳情8件、意見書4件、決議案1件が上程されました。そのうち陳情1件が継続審査となったものを除き、いずれも原案通り可決採択されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計補正増は

1億4,897万円

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億4,897万3千円を補正増して予算総額86億1,897万3千円となりました。

歳入については、前年度繰越金が1億4,584万3千円がほとんどを占め、母子家庭等高校修学助成、産地直結取引推進事業、霞ヶ浦流域農業特別対策事業などの県補助金が113万5千円、環境教育推進事業の委託金40万円などの補正増です。

歳出の主な補正増は次のとおりです。交通安全指導車を更新する

ための経費148万4千円。敬老会補助金を一人当たり1,000円から1,500円に増額するため

の社会福祉費が185万円。柿岡保育所と小幡保育所の修繕費などが294万9千円。他用途利用米の出荷奨励金として一袋(30粒)当たり1,000円を補助するため

の水田営農活性化事業費が800万円。フラワーパークの使用料を基金に積立てる管理運営費が4,246万8千円。同様に国民宿舎とふれあいの森のそれが2,444万9千円。葦穂小学校付帯工事と中学校の補修工事の工事請負費840万円。西光院ほん鐘の避雷設備などの社会教育費が43万5千円などそれぞれ補正増となりました。

農業委員に

吉川議員を推せん

また、庁舎建設事業の計画変更に伴う継続費の平成5年度分が5,100万円増額となり10億1,100万円に、さらに、平成6年度分が1億1,700万円増額となつて19億1,800万円にそれぞれ増額変更となりました。従つて工事費と設計委託料を合わせた総事業費は、当初計画より1億7,220万円増額の30億2,220万



農業委員に推せんされた
吉川 勇議員

円となりました。

町農業委員会委員には吉川勇議員が推せんされました。これは川井伸夫議員が6月7日付で辞任さ

れたのに伴い行われたもので、任期は平成6年7月19日までとなっています。

一方、今回は次のような条例改正がありました。一つは町国民健康保険税条例

の一部を改正する条例について。

これは地方税法及び施行令の改正に伴い、一世帯当たりの課税限度額を46万円から4万円引き上げて50万円とすることなどです。もう

一つは、議会の議決を必要とする工事又は製造の請負の契約金額を引き上げるものです。現在3,000万円以上が議決を必要とされて

いますが、地方自治法施行令の一部が改正になり最低基準が5,000万円に引き上げられたことに伴い、町の条例が改正されました。

また、町水田農業確立特別対策事業基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例が可決されました。これは、平成2年度に水田農業確立対策事業の推進の



梅雨の中での本会議

ため設立され、平成4年度でこの事業が完了し、平成5年度から新たに水田営農活性化事業が発足したことに伴い本条例を廃止したものです。

陳情・請願で採択されたものは①佐久良東雄資料館建設に関する陳情 ②道路整備に関する陳情

③暴力追放に関する決議を求める陳情 ④年金制度の改善を求める陳情 ⑤看護婦確保法制定に伴う看護婦確保の施策強化についての陳情(2件)、⑥郵政事業の現行経営形態堅持を求める陳情 ⑦地域開発に関する請願(小見・小嶋)

です。一方、診療報酬の引き上げ及び改善を求める陳情は継続審査となりました。

町立園部保育所

園部保育所は、昭和四十四年十月に開所され、ことしで二十四年になります。建物が老朽化したため平成四年度、町役場園部出張所脇に新築しました。新しい保育所は、冷暖房を完備した高台の環境のよいところ。将来、乳児保育ができる設備も整えております。

同所の定員は七十名ですが、現在五十名（一歳から五歳）を二クラスに分けて保育しています。

年間いろいろな行事を計画していますが、特に夏のプール遊びは楽しみです。いままでは、園庭が



狭いためにビニールの組み立てプールでしたが、ことしはシャワー付きの立派なプールが完成しました。楽しく遊びながら水に慣れ、学校での水泳にもスムーズに参加できるようにすることがねらいです。

町の福祉バスを利用しての園外保育は、イチゴ狩りをはじめ、フラワーパークなど近隣の公園に行

恵まれた環境で 心身共に健康な子を



この保育所は厚生年金国民年金
積立金還元融資施設です。

き、お母さんの手作り弁当を食べながら一日を楽しく過ごします。

毎月の誕生会はホールに集まり、誕生日を迎えた子にプレゼントを贈り、将来の夢などを話したり、保育の演ずるペープサートや手品などを楽しんだり、全員で会食をしてお祝いします。

運動会やお楽しみ会には、家族そろって見に来ていただき、園児たちも精一杯の演技を披露します。また、親も見ただけでなく子どもと一緒に参加して楽しめます。

恵まれた自然環境の中での散歩、

広い園舎、園庭を利用した学習や運動、栄養バランスを考えた手作りの給食などを通して思いやりのある心身ともに健康な子を、そして年長組には文字や数に対する知識豊かな子を目標に保育をしています。また、園庭の整備や遊具の設置など十分ではないので今後、父母の会（永井浩一会長）の協力をいただきながら少しずつ整備して子どもたちが楽しく過ごせる保育所をめざします。

町長の日記帳から

六月の主な動向はつぎのとおりです。

結婚難の解消を



- 一日火補正予算査定
- 二日水社会福祉協議会理事会
評議員会
- 三日木茨城放送開局三十周年記念式、健康づくり推進協議会
- 四日金国保運営協議会
- 六日土新治郡体育大会
- 七日月土浦土木協議会総会
- 八日火管内道路整備促進協議会
- 九日水十日木統計調査員協議会総会及び研修
- 十一日金小桜小学校舎起工式、酪青連総会、町政モニター会議
- 十四日月二十三日火平成五年第二次議会定例会
- 十五日火老人大学卒業式
- 十八日金体育協会総会
- 二十三日水二十四日木農事実行組合協議会総会及び研修
- 二十五日金二十六日土交通安全協会総会及び研修
- 二十八日月観光協会総会
- 二十九日火三十日水消防団幹部研修
- 三十日水出島村八郷町結婚相談員交流会

八郷町の平成四年度の出生児数は二百七十五人で、昭和六十年年度出生の三百四十人（現在小学二年生）、さらに昭和五十三年年度出生の三百八十八人（現在中学三年生）に比べると大幅に減ってきています。

このことは、嫁不足、結婚難とつながっていると思われ、町としても重大な問題となつていきます。町では、後継者結婚相談員制度を設け努力しておりますが、さらに対策を講じてまいりたいと思っております。

出島村・八郷町結婚相談員交流会は、昨年出島村を会場に、ことしは八郷町の国民宿舎つくばねで行われ、四十二人が参加しました。出島からは宮嶋村長も出席され、一組でも二組でも結婚が決まればと、真剣に情報交換がなされました。

町民のみならず、自分のこと、わが家のこととして考え、ご協力いただきたいと思います。

町政モニター会議第一回

心のふれあう町政を



こととして六期目を迎える町政モニターの第一回会議が六月七日、中央公民館で開かれました。

会議では初めに、モニターの皆さん一人ひとりに委嘱状が手渡されました。その後、町長から町を取り巻く状況や政策などの説明があり、さらに、川俣総務課長から平成五年度予算と事業、真家企画開発課長補佐から各種計画の概要が紹介されました。また、質疑ではゴミの問題、居住環境の問題、文化の問題など活発に意見が交換され、初会議ながらモニターの皆

さんの熱意が伝わってきました。

町政モニター制度は、皆さんのそれぞれの生活の中から町政に対してのご意見、ご提案などをいただき、それを町政に反映させ、豊かで希望のもてる町づくりに役立てるものです。任期は委嘱された日から、平成六年三月三十一日までの一年間です。

モニターの活動内容は、モニター通信、アンケート調査、モニター会議、施設見学などです。

モニターの皆さんのご意見、モニター会議でのご提案、アンケートの調査結果は、次のようにまとめて町政に生かしていきます。

(1)モニター通信やモニター会議での意見などについては、町づくりの企画や町政執行の資料にするほか、関係課局所に送付して必要と認めるものについては回答をいたします。

(2)アンケートの調査結果は、町づくりの企画や町政執行の資料といたします。

モニターの皆さんには、こうしたモニター会議を重ねて、「住民本位」の町づくりにご協力をいた

だきます。

＜町政モニター紹介＞

広瀬秀之（37歳・小売卸売業）柿岡
中沢 光治（41歳・水道業）柿岡
塚田 恭子（38歳・製造業）柿岡
吉野 寛美（49歳・主婦）小幡
込山 次男（42歳・農業）小幡
松崎 淑子（42歳・自由業）細谷
水野 美雄（68歳・無職）小倉
鈴木つや子（50歳・農業）小山田
市村 健三（58歳・自由業）上曾
郡司政之丞（55歳・農業）中戸
吉田 保（39歳・会社役員）小見
富田福美子（35歳・主婦）大塚
郡司 一男（31歳・農業）中戸
野村 栄重（44歳・農業）瓦谷
稲田 重子（49歳・会社員）瓦谷
野口さち江（45歳・主婦）野田
長谷川静恵（49歳・小売卸売業）真家
飯村みどり（38歳・主婦）山崎
鈴木まち子（49歳・農業）山崎
小野 茂（36歳・縫製業）下林
小松崎和子（49歳・主婦）下林
飯塚 揚子（58歳・主婦）下林
鈴木芳美（45歳・サービス業）菅浦沢
生井 富雄（40歳・自由業）川又
関 利枝（44歳・サービス業）半田

— 順不同・敬称略 —

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

夏休みの思い出に 「ふるさとまつり」



本格的な夏に入り毎日暑い日が続きます。「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは、お子さまを中心とした楽しい催し物「ふるさとまつり」を、八月十三日から十五日までの三日間開催いたします。

内容は、中学生以下のお子さまを対象とした「チビッコ宝さがし」。来園者センター前広場をスタート・ゴール地点とし、フラワーパーク園内にかくされた宝箱の中からカードを集めゴールすると、ステキな賞品が待っています。開催時間は午前十時から午後三時までです。

また、夏の風物詩 緑日などでおなじみの「水ヨーヨー祭り」を一回五十円で楽しんでいただきます。簡単そうでもなかなか難しい「水ヨーヨー祭り」にぜひチャレンジしてください。

その他、八月十五日の午後一時三十分から生け垣の手入れに関する園芸教室も開催しますので、ぜひご参加ください。

なお、六月に行われたモデル撮影会の入賞写真の展示が八月八日から三十一日まで、来園者センターホールで行われます。ぜひご覧ください。

茨城県フラワーパークの開園時間は、午前九時から午後五時（入園は午後四時三十分まで）。お問い合わせは ☎ 四二一四一 一まで。

八郷町の文化財

(12)

平安時代中期の

立木観音像

立木十一面観音菩薩像

県指定

昭和三十六年七月二十一日

所在地 八郷町吉生峯寺山西光院

像名 十一面観音菩薩像

像高 五九七センチメートル

面幅 六二・七センチメートル

裾長 一一〇・六センチメートル

材質 はるにれ

作者 不明

年代 平安時代中期

西暦八百年頃、法相宗徳一法師が吉生村上根の奥山に開山したといわれる立木山長谷寺高照院がある



り、立木観音像はこの寺の御本尊であったといわれております。

この像は、一本の立木に刻んだものと推定されているが、腕の一部が寄せ木である。いつ頃、誰の作であるか不明だが、像中の記録に「千年近く経過し破損が目立つ。光明曼荼羅のお札を配布し御芳志を賜わり、修理完成が元文二年九月（一七三七）」と記されている。明治四十二年四月（一九〇九）吉生地域民の尽力により、高照院から当院までの山道の整備を行い、観音像と堂宇を当院の現在地に遷座させました。

昭和三十六年七月、茨城県文化財の指定を受け、京都の美術院国宝修理所で解体修理が行われましたが、日本全国中に八体の立木観音像があり、大きなものでは福島県会津の恵隆寺にある千手観音、それに次ぐ第二位の十一面観音菩薩像と高く評価されており、

八郷町の貴重な文化遺産である立木像を永遠に保存し、八郷の平和を守り続けて欲しいものです。

珍しい形と美しさ

中山の五葉松

町指定 昭和四十七年十一月七日

所在地 八郷町小幡三六〇九

小松崎政宅



樹高 約五・五メートル
幹の太さ 約一・三メートル
枝張 約十五メートル
樹齢 推定百五十年以上
町内の五葉松の中では、珍しい形と美しさを整え、石垣に沿い西に向かったひと枝が力強く張り、延々と十五メートルほどに伸びています。

庭木としての手入れも届き、その美観は一段と目立ちます。

当家の話によると、数代前の先祖が伊勢神宮に参拝され、その記念樹に持ち帰った五葉松と言ひ伝えられております。

●最近気になる病気

脾臓の病気について

石岡市医師会病院

外科 釧持俊明医師

最近、わが国における食生活の欧米化やアルコール摂取の増加により、脾臓の病気が増えてきました。

脾臓の病気は脾炎と、脾臓に代表される腫瘍性疾患とに大別されます。

脾炎には、急性と慢性とがありますが、その病態はかなり異なります。

急性脾炎は脾の酵素が脾内で活性化され、脾組織を自ら消化してしまうためにおこり、多くは上腹部の激痛を伴います。

症状が軽いものは点滴などにより治りますが、一部には重症化し、全身の臓器障害をひき起こし死亡する例もあります。

一方、慢性脾炎は脾の組織の腺維化が主であり、これにより脾機能が低下し、反復する上腹部痛、消化不良、下痢などの症状が現れます。

脾炎の原因は、はっきりとわからない場合もありますが、アルコールや胆石が原因となるこ

とが多く、特に慢性脾炎の原因としてアルコールが約半数を占めています。

腫瘍性疾患では、脾臓、脾のう胞、脾内分秘腫瘍などがありますが、最近脾臓の増加が著しく、脾臓による死亡者は、胃癌による死亡者の四分の一にまでなっています。

症状は、腹痛、背部痛、食欲不振、悪心、腹部膨満さらには体重減少といったもので特徴的なものはありません。

脾臓の病気を診断するには、まず、血液中の脾酵素（アミラーゼ、リパーゼ）、血糖、尿アミラーゼの測定を行い、同時に腹部X線検査、さらに超音波検査、腹部CTへと検査を進めます。場合によっては、内視鏡的脾臓造影や血管造影を加えることもあります。

これらの検査を効率よく行うことで、脾臓の診断も迅速かつ正確に行われるようになり、脾臓も早い段階で発見できるようになってきました。





カラムシ

八郷の自然

10

みどり生き生き

梅雨があけると、盛夏、真夏の太陽の恵みをうけ、稲穂は胎動をはじめ、盆の頃出穂する。

この初穂をはじめ、種々の農作物や特定の花や草が盆には登場する。この特定の植物は地域や、その家の伝統により一定ではない。

1、ほん花、広義では盆に供える各種の花であるが狭義には赤むらさきの小花をつけるミソハギである。水辺を好むので溝萩の意と理解され易いが、古来、祭事に使用されてきたので萩萩がつまってミソハギと呼ばれたようである。花を供えるほか、供膳の箸はこの花の茎で作るのが多くの家の伝承である。今日、生花店には必ずこのミソハギを売っている。

盆にまつわる花や草

低下し、衣料の素材になることを知らない人も多い。しかし、祖霊と子孫を結びつける糸として残っているし、子孫に残すべき習慣であろう。

3、サルトリバラの葉、俗にばらっ葉という。盆には餅を供えるが搗いた餅をこの葉で包み三か日間保存するの

が、八郷の伝統である。山林が荒れ、くぬぎ林などが消滅しかけている今、ばらっ葉餅の習慣も消えようとしている。

里山がよく管理されていた頃、下草にナデシコ、キキョウ、オミナエシなどをばらっ葉と、同時に採り、供えたものであった。このばらっ葉は、現代人の好みにマッチしたアスパラガスと同類である。山菜愛好家は、この若い茗茶や近縁のシオデの芽を、アスパラガスと同様の調理法で楽しんでいる。

霊とか心とかは物質ではない。しかし、祭壇や供物や献花があつての盆である。心と物質は一体である。豊かな自然、花の郷が八郷の心を育むのだ。

町文化財保護審議委員 軽部豊

わたしの手料理



フライドバーク

食生活改善推進員 菅原光江（宇治会）

材料（4人分）

長ねぎ½本 ショウガ1かけ 鶏ひき肉200g
牛ひき肉200g しめじ1パック 貝割れ大根1
パック 大根おろし適量 青じその葉8枚 し
ょうゆ大さじ1 小麦粉大さじ2 揚げ油適量

作り方

- ①長ねぎとショウガをみじん切りにする。
- ②鶏ひき肉と牛ひき肉をよく混ぜる。それにしょうゆと小麦粉を加えて、粘りがでるまでよくこね、8個にまとめる。
- ③揚げ油を中温に熱し、②をこんがりと揚げる。
- ④しめじを大まかに房わけし、サッとゆでる。貝割れ大根は、根元を切る。
- ⑤大根おろしと青じその葉をそえて器に盛る。



おが家のひょうし

柿岡

山中美幸ちゃん

父 隆之さん 母 幸子さん
平成3年6月22日生まれ（長女）
♥家族からの一言

はだしが大好きで、外にもはだしで出ていってしまう元気な女の子です。最近、言葉やしぐさがおしゃまになり、毎日家族を楽しませてくれます。

健康でおおらかに育ってほしいです。

みんなの広場



柿岡 高橋里美 (11)



柿岡 滝本理恵 (11)



柿岡 橋本ゆき・まさ



フー (12)

私もひとこと

車

で走っているとガードレールがあれば良いのと思う場所がたくさんあります。何とかならないかしら。

柿岡 平野敬子(47)

♣ 各地区の交通安全協会の役員さんにご相談ください。交通安全協会の役員さんは、各地区の交通安全施設(ガードレール、カーブミラー、信号など)の見回りをしてくれています。役員さんから役場の総務課へ連絡され、その後の手続きがなされます。

なお、役員さんについては、各区長さんや役場総務課に問い合わせただければわかります。

総務課

山

タの樹々が芽吹き、新緑が鮮やかに輝きを増すこの季節ほど、この風土を慈しむ気持ちになることはありません。万緑に家族揃ってカメラオン化しそうで、ある朝起きたら緑色の顔に、緑色の体、そして尾っぽまで生えているかも知れない。そんな馬鹿げた期待を持ってしまうほど、この土地の緑は素晴らしいと思います。

加良寿理 島田浩美(32)

ぼ

くのこのはがきが、あたるといいのになあ。広ぼうがくると、だれかしっている人の名前があるかな

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩 亭

吉生小五年 鈴木直美

花咲く里

鈴木直美

重みのある線で充実している作品です。

柿岡小六年 木村幸子

目の上の人

木村幸子

明るく、すっきりして美しく書きました。

私

の好きな花シリーズで毎月投稿したいと思います。毎月の広報紙がとても楽しみです。特に八郷の自然には故郷のニオイを感じ、次回が何かと期待が大きいです。

イラストに書いたバラはわが家の庭のものです。とても良いニオイがするんです。お届けできないのが少々残念です。色は赤。フラワーパークも満開の事と思います。ちなみに母の日にはカーネーション、父の日にはバラですね。

♣

いろいろなお便りありがとうございました。広報クイズにもたくさん応募があり、なかなか当選しない方もいるかと思いますが、これに懲りずにご応募をお願いします。広報係

山崎 伊藤芳枝(45)

いかとか、どのページもよく見ます。ほとんどの名まえも広ぼうにのるといいな。

山崎 飯村義之

五 年生の終りごろからバレーボールを始めました。つらいけどがんばって毎日練習をしています。学校から帰って、広報のみんなの広場を読むのが楽しみです。私の名前もクイズのところにでていたら、友達にもじまんでくれるのになあ。家族でだーれも当たったことがないの。私が当たればいいなあ。

山崎 飯村歩美(11)

八 郷町の文化財を毎回楽しみに拝見しています。町内なので少しの時間を利用して訪ねています。これからも続けてください。

フラワーパークの入場券
とふれあいの森乗り物券が
ペアで当たるよ

広報クイズ 64

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①今年新しく移転し、建て替えら
れた保育所はどこか？

(A)園部保育所 (B)林保育所
(C)柿岡保育所

②平成4年度の登録犬の数は？

(A)1,783頭 (B)1,784頭
(C)1,785頭

③学校給食ができるまでを取材し
た日は何日？

(A)5月21日 (B)6月20日
(C)6月21日

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ64と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入場券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆締切日 平成5年8月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
2009-3 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙9月号

【広報クイズ62の当選者の発表】

正解は1-B、2-A、3-Bでした。
応募総数38通、正解38通の中から
次の10名が当選しました。

桜井妙子(柿岡) 菱沼和行(月
岡) 清水勉(山崎) 橋本武(柿岡)
渡辺百合子(真家) 込山とし代(小
幡) 中嶋基美(小倉) 市村志つ(小
見) 藤崎真里(真家) 平野敬子(柿
岡) [敬称略]



柴山奈美江



流星の星



小幡 桜井敏行(16)

●やさと文芸

短 歌

吉田 次郎 選

青梅のつぶらなる実が鈴なりに太るが見えて梅雨蘭けにけり

東成井 大和 利

永きこと使い馴れたる裁板も色の变りて我老い初めぬ

東成井 小島 せん

女独りまだたよられる身であるを心うれしく仕事に励む

山崎 鈴木 君江

俳 句

綿引 鼓峰 選

着てもみて形見の単衣懐かしく

大塚 友部 ゆき江

きらきらと光る蜘蛛の雨上る

東成井 小島 せん

咲き揃う門田の畦の花菖蒲

上曾 足立 喜一郎

俚 謡

大木 嶺月 選

里は一面見渡す青田祝う早苗ぶりカラオケも

大塚 友部 ゆき江

筑波山波からりと晴れて空に舞う花グライダー

上曾 足立 喜一郎

国を揚げての祝福受けて殿下お二人水入らず

青田 田上 岳尾



休耕田に花菖蒲を栽培、きょう
も道行く人の目を楽しませている。

(上林地内で)

やさ
と
点
描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 ☎内線 一一二)

スポーツ少年団全国表彰される

町のスポーツ少年団の功労者と優秀団がこの程、財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団から表彰を受けました。これは、日本スポーツ少年団創設30周年記念事業の一環として行われたものです。表彰を受けた功労者は倉田展郎さん。倉田さんは町のスポーツ少年団の本部長

を務めており、長年子供たちの指導に携わってきました。

優秀団は柿岡つくばね(野球)、つくばね(バレーボール)、つくばね柔道の各スポーツ少年団です。各少年団とも活発な活動を行い、優秀な成績を残しています。これからも頑張ってください。

アメリカからホームステイ

アメリカの高校生が、柿岡の杉田守英さんのお宅にホームステイしていました。名前はジョン・ベッカー君、年齢は18歳です。彼は日米親善高校レスリング大会のため六月二十日に来日し、茨城大会のあいだ杉田さんのお宅に滞在していたのです。

杉田さんは土浦日大高校のOBのため、例年はコーチの案内役をしていたのですが、ことは来日する選手の人数が多かったことから、ホームステイを頼まれたということです。

ジョン君は言葉は通じなくても、杉田さん一家が親切にしてくれるので、寂しくなかったそうです。特に子供達二人が彼を楽しませてくれた様子。彼に八郷町の感想を聞いたら、「人がとっても親切。この町は緑がたくさんあって美しい。でもみんな忙しそうだ」とのことでした。

日本滞在は二週間ですが、関東一円を試合をしながら回るので、八郷町にいるのは三日間だけと短い間でした。それでもジョン君にとっては、いい思い出になったのではないでしょうか。

ときめき
ティータイム

細谷敦子(片野・22歳)さん

趣味はテニス。日曜日はほとんどテニスをしています。特技は書道。理想の男性はやさしい人。



★広報やさとは、ときめきティータイム、わが家のアイドルを募集しています。推薦も大歓迎です。希望される方は、役場秘書広聴課広報係(☎内線 一一二)までご連絡ください。





丹精こめたさつき60点を展示

八郷盆栽会主催によるさつきの展示会が、六月七日から十日まで中央公民館で開かれました。会場には色とりどりのさつきが六十点ほど展示され、訪れる人々の目を楽しませていました。なお、入賞者は次のとおりです。

▽農林水産大臣賞 大塚恵▽県農林水産部長賞 河合定男▽県南総合事務所長賞 高橋正躬▽県議会議員賞 雨貝恒治

▽八郷町長賞 小橋君一▽町議会議長賞 大関久▽町観光協会会長賞 鈴木光一▽町農業委員会会長賞 小松崎正一▽県フラワーカー園長賞 藤岡勲▽常陽銀行柿岡支店長賞 藤浪光男▽石岡信用金庫柿岡支店長賞 桜井芳夫▽町商工会会長賞 市村千代▽中央公民館長賞 熊岡三天▽八郷盆栽会会長賞 大沢一男▽八郷盆栽会会長賞 賞川井男一郎

敬称略

熱戦が展開、クロツケー大会

春季町民クロツケー大会が六月十六日、総合運動公園で開催されました。

当日は八時三十分より開会式が行われ九時に競技が開始。五十三チームが四ブロックに分かれ、午後まで白熱した試合が繰り広げられ、皆さん元気にプレーを楽しんでいました。

各ブロックの成績は次のとおりです。

Aブロック ▽優勝根小屋 ▽準優勝 瓦会高橋 ▽三位林中央A
Bブロック ▽優勝片野B ▽準優勝 林中央磯山 ▽三位東成井A
Cブロック ▽優勝林中央B ▽準優勝 勝瓦会桜井 ▽三位戸の内川井
Dブロック ▽優勝園部第三A ▽準優勝川又二 ▽三位月岡二

濃淡の美、水墨画展

八郷町水墨画同好会の展覧会が、水戸市の県民文化センターで開かれました。

同好会は町出身で、日本水墨画協会常任運営委員の加藤敬彩さんを講師に活動しています。活動は公民館講座から始まり、現在では毎年、公民館まつりや柿岡

郵便局のギャラリーで水墨画展を開いているとのこと。同好会のメンバーは八郷に住んでいる三十四人で、月二回ほど講座に集まっています。展覧会には、町の美しい自然を題材にした力作約百点が展示され、盛況を博していました。



肥満解消と気分転換を兼ねて山歩きに精を出しています。

自宅を出発して峯寺山を往復するのがいつものコース。所要時間は一時間三十分。万歩計で測ると九千五百歩です。連日は三歳になるメス犬一頭、名をワン公といいます。元気な時は筆者の前を歩きますが、イヤな時はブレーキをかけながら筆者の後方からとほとほと。綱を引くのも一苦労です。

頂上近くになると急な登り坂になり、決まって息苦しくワン公ともども舌を出してハアハア。

しかも、頂上付近にはカラスの夫婦が生息し、定期的に領域侵犯する筆者たちを威嚇するのです。

ある時、カラスの一羽が低空飛行をしてワン公の頭をつきました。すかさず筆者は近くの石を投げて応戦。カラスは「カアカア」と退散。その後犬連れ中年とカラス夫婦の戦闘は繰り返されました。

その戦闘にヒリオドを打つ出来事が起ったのです。よく晴れた日、筆者の頭ににわか雨が降ってきました。見上げるとカラスが小便をしているではありませんか。

賢者カラス夫婦に敗れた筆者たちは現在、彼らのなすがまに山歩きを続けているのです。(岡)

犬と仲良く暮らすために

ボクも家族のひとりです

犬や猫など動物とのふれあいは、私たちの生活に潤いをもたらします。八郷町でも犬や猫などペットを飼う家庭が増えており、平成4年度の登録犬は1,784頭を数え、4軒に1軒が犬を飼っているということになります。そこで、今回は犬や猫などの正しい飼い方を取り上げてみました。



柿岡の大塚正道さん(63)は1日3回、朝昼晩に犬の運動をしている。昨年2月、高齢者センターへ持参した子犬を引き取り飼っているそうで、大塚さんの健康づくりにもなると喜んでいる。

このところ、犬の放し飼いや野良犬、野良猫のはいかいが目立っています。とりわけ、夜になるとその数がふえて、数頭連れ立って歩いているのをよく見かけます。

茨城県動物指導センターには、それらに伴う、被害、悪臭、フン、騒音などの苦情が多く寄せられているそうです。また、平成四年度同センターに収用された犬は一万九千五百六十九頭(県全体)を数えています。内訳は飼い主などが持参した引き取り犬が一万三千百一頭、苦情処理による犬が六千四百二十二頭、交通事故などによる負傷犬が四十六頭となっています。

さらに、かみつき事故として報告のあったものは二百九十三件にのぼり、そのうち飼い主のいる犬が二百八件、不明の犬が八十五件、それとは別に意外に多いのが、自分の飼い犬にかまれる事故。そこで、犬の正しい扱い方を改めてチェックしてみましょう。

(1) きちんと世話をしよう。

飼い始めのころは、とてもかわいがるのに、そのうちに飽きてほったらかしにするという人ときどき見かけます。

(2) しつけをしよう。

ほえたりとびついたりして人に迷惑をかけるのも、拾い食いをしておなかをこわすのも、交通事故にあうのも、しっかりしつけをしない、飼い主の責任です。

(3) フンの後始末をしよう。

散歩のときは、フンの後始末ができるものを持ってでかけ、途中でフンをしたら、必ずきれいにし、て帰りましょう。

(4) 犬はつないで飼おう。

犬を屋外で飼う時は、必ずつないで飼いましよう。特定犬はオリの中で飼うように決められています。



犬猫の引き取りは、毎週火曜日の午後1時45分から50分に高齢者センターで行っており、県動物指導センターへ運ばれる。

す。(秋田犬、紀州犬、ドーベルマン、シェパードなど)

(5) 畜犬登録をしよう。

生後九十日を過ぎた犬を飼う時は、三十日以内に畜犬登録をすることになります。

(6) 予防注射をしよう。

犬は、生後五十日を過ぎたころにジステンバーの、生後九十日を過ぎたら狂犬病の予防注射をします。狂犬病の注射は、第一回が済んだ後も、毎年受けさせます。

犬は人間社会から切り離して野生獣としては生きていけません。だから捨て犬は絶対にやめましょう。一方、野生犬の食料となるようなゴミの投棄も避けてほしいものです。ペットの苦情は人間が原因でつくられます。